

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【公開番号】特開2009-233454(P2009-233454A)

【公開日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-041

【出願番号】特願2009-172891(P2009-172891)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月25日(2010.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報の変動表示を行なって表示結果を導出表示する変動表示装置を備え、前記変動表示装置における前記識別情報の変動表示の表示結果が予め定められた特定表示結果となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御される遊技機であって、

遊技者が操作可能な操作手段と、

前記特定遊技状態に制御するか否かと、前記特定遊技状態終了後に前記特定遊技状態と異なる通常状態よりも前記変動表示の表示結果が前記特定表示結果となる確率が向上した高確率状態に制御するか否かを前記変動表示の表示結果を導出表示する前に決定する事前決定手段と、

複数回の変動表示に亘って前記変動表示装置を含む演出装置において行なわれる演出の演出モードを、演出態様が異なる複数種類の演出モードのうちから決定する演出モード決定手段と、

該演出モード決定手段による決定結果に基づいて、演出態様を選択し、該演出態様により演出を行なう演出モード実行手段とを含み、

前記演出モード決定手段は、

前記特定遊技状態の終了後における演出モードを、第 1 の演出モードとすることを決定する終了後演出モード決定手段と、

前記第 1 の演出モードであるときに前記事前決定手段による決定結果がいずれの決定結果であっても成立することのある所定条件に基づき前記高確率状態に制御されていないときよりも前記高確率状態に制御されているときのほうが高い割合で、第 2 の演出モードに移行させることを決定する第 1 移行演出モード決定手段と、

前記第 2 の演出モードであるときに前記事前決定手段による決定結果がいずれの決定結果であっても成立することのある所定条件に基づき前記高確率状態に制御されているときよりも前記高確率状態に制御されていないときのほうが高い割合で、前記第 1 の演出モードに移行させることを決定する第 2 移行演出モード決定手段とを含み、

前記演出モード実行手段は、前記操作手段の操作に基づいて、前記演出モードを移行させることを特徴とする、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報(飾り図柄)の変動表示を行なって表示結果を導出表示する変動表示装置(変動表示装置9)を備え、前記変動表示装置における前記識別情報の変動表示の表示結果が予め定められた特定表示結果(大当たり表示結果)となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態(大当たり遊技状態)に制御される遊技機(パチンコ遊技機1)であって、

遊技者が操作可能な操作手段(操作ボタン88)と、

前記特定遊技状態に制御するか否かと、前記特定遊技状態終了後に前記特定遊技状態と異なる通常状態よりも前記変動表示の表示結果が前記特定表示結果となる確率が向上した高確率状態に制御するか否かを前記変動表示の表示結果を導出表示する前に決定する事前決定手段(図20のS25、S28、図21のS41)と、

複数回の変動表示に亘って前記変動表示装置を含む演出装置において行なわれる演出の演出モード(確変演出モード)を、演出態様が異なる複数種類の演出モード(確変報知演出モード、第1～第3確変演出モード)のうちから決定する演出モード決定手段(図32のS291、図33のS401～S418、図36のS330、図37のS340～S351)と、

該演出モード決定手段による決定結果に基づいて、演出態様を選択し、該演出態様により演出を行なう演出モード実行手段(図29のS500～S503、図30のS254、S256、S258、S260、S262、図31のS234、S235、S237)とを含み、

前記演出モード決定手段は、

特定遊技状態の終了後における演出モードを、第1の演出モード(第1確変演出モード)とすることを決定する終了後演出モード決定手段(図37のS344、S347)と

前記第1の演出モードであるときに前記事前決定手段による決定結果がいずれの決定結果であっても成立することのある所定条件(大当たり決定時に限らず行なわれるリーチ、大当たり予告。第4実施形態の場合は、大当たり決定時に限らず、ミッション演出期間にアイテム計数ゲームが行なわれる30回の変動表示。)に基づき前記高確率状態に制御されていないときよりも前記高確率状態に制御されているときのほうが高い割合(図38におけるリーチの種類と、RS5の昇格判定個数との関係のように、リーチの種類に応じて確変演出モードを昇格させる判定をする割合が異なり、リーチの種類に基づいて、高確率状態に制御されていないときよりも高確率状態に制御されているときのほうが高い割合(第2実施形態なお書き)。図39における大当たり予告の種類と、RS5の昇格判定個数との関係のように、大当たり予告の種類に応じて確変演出モードを昇格させる判定をする割合が異なり、大当たり予告の種類に基づいて、高確率状態に制御されていないときよりも高確率状態に制御されているときのほうが高い割合(第3実施形態なお書き。第4実施形態の場合は、図41で確変時の方が非確変時よりもアイテム計数ゲームでアイテムを獲得すると決定する割合が高くなるように設定されている。))で、第2の演出モード(第2確変演出モード)に移行させる(図12の(A13)～(A17)の昇格ゲーム、図31のS235、図33のS403)ことを決定する第1移行演出モード決定手段(第2実施形態なお書きおよび第3実施形態なお書きで内容が置換えられた図33のS402～S406、図35のS439aY、S448。第4実施形態の場合は、30回の変動表示が行なわれるミッション演出期間の終了時にアイテム計数ゲームでのアイテムカウント数が第2設定値である「10」以上「15」未満となったとき、図45のS274で第1昇格フラグをセットする。)と、

前記第2の演出モード(遊技者の信頼度が高い確変演出モード)であるときに前記事

前決定手段による決定結果がいずれの決定結果であっても成立することのある所定条件に基づき前記高確率状態に制御されているときよりも前記高確率状態に制御されていないときのほうが高い割合（確変状態時よりも非確変状態時において、信頼度が低い確変演出モードへ移行されやすい）で、前記第1の演出モード（確変状態に制御されていることに対する遊技者の信頼度が低い確変演出モード）に移行させることを決定する第2移行演出モード決定手段とを含み、

前記演出モード実行手段は、前記操作手段の操作に基づいて、前記演出モードを移行させる（図35のS432～S449）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

このような構成によれば、特定遊技状態の終了後における演出モードを、第1の演出モードとすることが決定され、第1の演出モードであるときに、事前決定手段による決定結果がいずれの決定結果であっても成立することのある所定条件に基づき高確率状態に制御されていないときよりも高確率状態に制御されているときのほうが高い割合で、第2の演出モードに移行させることが決定される。これにより、特定遊技状態の終了後における複数回の変動表示に亘って行なわれる演出の演出モードが第1の演出モードとなり、その第1の演出モードであるときに、事前決定手段による決定結果がいずれの決定結果であっても成立することのある所定条件に基づき高確率状態に制御されていないときよりも高確率状態に制御されているときのほうが高い割合で、第2の演出モードに移行させることが決定されるので、特定遊技状態の終了後において、第2の演出モードへの移行により、高確率状態に対する遊技者の期待感を失わせないようにすることができ、高確率状態に制御されていることについての信頼度が高い演出モードでの演出が行なわれることについて遊技者に積極的な期待感を持たせることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0017
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0018
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 14】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0019
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 15】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】削除
【補正の内容】